

登場人物紹介

若手編集者
ウワイ

ヤンマガ編集部期待の(?)3年目編集で、『MFゴースト』の新担当。勉強はできるがクルマのことはさっぱりという“さとり世代”。



クルマライター
アンドー

自動車メディア業界で暗躍するフリーの編集ライター。風貌も発言もうさんくさいが、クルマに関する知識やクルマ愛は本物。



第1~10巻、累計
250万部突破!!

『MFゴースト』

しげの秀一

累計5000万部[頭文字D]の系譜を継ぐ、新公道最速伝説。『MFG』第3戦決勝へ。予選3位とさらなる飛躍が期待されるカナタに思わぬアクシデントが襲いかかる!

第10巻、1月6日(水)発売!!



『MFゴースト』応援企画!!
クルマの知識もモテる技術(?)も
マスターできる特別企画、新章第18回!

公道最モテ伝説

DTGHOST

第18回

ウワイ、フレンチスポーツに酔いしれる!の巻

入社3年目の

若手編集部員ウワイ。

これは、時代の波に

乗れない彼がクルマを

乗りこなすまでを

描いた物語である――。

「あらすじ」久しぶりのクルマ紹介!

リモートワークの下、もんもんとした日常を送っていたウワイがアン

ドーに試乗を求めたのはアルピー

ヌ!『MFゴースト』でも有数の天

才肌&プレイボーイな沢渡光輝のマ

シンに、ウワイが試乗したゾ。乗っ

て走れば、気分はもうパリジャン!!

外はフランスの風が吹くぜー!

★ ★ ★

ウワイ 師匠、いま『MFゴースト』

にアルピーヌってクルマが出てる

じゃないですか。ボクはあのドライ

バー、沢渡みたいな男になりたいん

ですよ。

アンドー(以下、安ド) それって、

ただ若いコとデートしたいだけだろ

うが。あんなことやこんなことして

くれる大人の女性ののが、付き合っ

たら絶対楽しいぞ。

ウワイ そ、そういうものなんです

ね……。そんなことも知らずに、在

宅ワーク中、ピチピチギヤルと妄想

見ても乗っても魅了される
フレンチミッドシップ

今回の
試乗車



■アルピーヌ A110S

850万円



復活したA110は、パワフルな最新スーパーカー
に対して、バランスの良さで勝負する。



余計な装飾があまりない、シンプルでピュアな雰
囲気のインテリアもアルピーヌらしさ。

デートをしていました。

安ド ふん。そんなみずみずしいほ

どピュアなDTウワイくんのために、

今日はその沢渡が駆るアルピーヌを

借りてきたぞ。

ウワイ おお! なんと、今、あら

ゆるスポーツカー好きが注目してい

ると言われるフレンチスポーツカー

じゃないですか!

安ド なんだ、ちょっと詳しいじゃ

ないか(笑)。そうだ、今日はここ

までは横浜を流してきたが、道ゆ

く人々の視線がアツかったぞ。

ウワイ こうしているいまも、なん

だかクルマ好きっぽいおじさんたち

から見られてますね。17歳に見られ

たいのに。

安ド(無視して) なにせ、こいつ

は新生・アルピーヌブランドの立ち

上げモデルだけに、現時点ではフェ

ラーリやポルシェより希少なクルマ

だからな。



4つ目で
クセが強い!

オリジナルのアルピーヌA110最大の個性ともいえる4つのヘッドライト形状をモダンに再現。「左右外側は微妙にスポーティな形ですね!」(ウワイ)

ウワイ たしかに、街を見たことないスポーツカーが走っていると気になります!

安ド プラスして、古いクルマが好きで連中も注目している。そもそもデザインモチーフになったのが、60〜70年代に販売されていたアルピーヌA110だからね。

ウワイ え、ボクが生まれる前じゃないですか! どうもカッコウが現代っぽくないと思いました。クラシックとモダンの融合で、まるで絵画のようですよ!

安ド ミニヤビートルなど、クラシックカーのリバイバルモデルは、風変わりな雰囲気なところが逆に



屋根の軽さが
違いをもたらす!

「重心が下にあるほどクルマの走りは安定する。そのため、A110[S]では、ルーフ(屋根)に軽量のカーボン素材を採用。頭が軽いのだ!」(安ド)

ウワイ セめるという意味では合っているな。エンジンパワーが高められ、足まわりが引き締められている。キャラクターはビンビンに立っているぞ!

カッコ良かったりするのだ。4灯ヘッドライトに張り出したシヨルダライン、リヤエンドの尻下がりがフォルムなんかも、オリジナルモデルを踏襲しているぞ。

ウワイ は、早く乗りましょう!

安ド よし。ただ今回の試乗車は、スタンダードな「A110」じゃなくて、「A110S」な。

ウワイ え……いや、ボク、あんまり痛いとかいやですよ。

▶ミニマムながらもエンジン後方に荷室が設けられている。「可愛いサイズで何を入れるか迷っちゃいますね!」(ウワイ)



可愛いやつ♡

ウワイ では早速、運転させていただきます。ふむふむ、あー、なるほどな!



エンジンはこちら!

◀[S]モデルでは、最大出力292馬力を発揮するターボエンジンを搭載「ミッドシップなのでここに収められています!」(ウワイ)

ウワイ ……。

ウワイ なんかというか、気持ちよくコーナーを曲がれる気がします。

安ド わ、わかるのか!?

ウワイ いや、このクルマを試乗した、カー・オブ・ザ・イヤー選考委員のセンパイがそう言っていました。

安ド ガクーツ! …とはいえ、ミッドシップであることくらいはわかるんじゃないか?

ウワイ お尻が浮く感じですか?

安ド いや、逆だな(笑)。ノーズが軽い感じだ。

ウワイ パワフルというわりには扱いやすい気がします。

安ド このクルマは、とにかく素性



F1譲りの技術!

多くのスーパーカーメーカーでも採用されている「ディフューザー」と呼ばれる整流板を採用。「高速域で効果を発揮!」(安ド)

がいい。1.8リッターエンジンでちょうどいいパワー、ちょうどいいボディサイズ、ちょうどいい重量……それに加えてミッドシップと、これならMFGでトップ争いできそうだろう。

ウワイ これが、イタリア車のフェラーリやドイツ車のポルシェとは異なる、フランス車の乗り味なんですかね?

安ド 平たくいえばそういうことだ。ただ走りがいいだけじゃない、底抜けにオシャレで、どこか力が抜けててエロい雰囲気がある。あ、なんか沢渡っぽいな。

ウワイ やっぱボクも沢渡を目指します!

安ド 警察のお世話になるようなことだけはするなよ!!



穴空いとるやんけ!

ボルボなども採用するフローティングセンターコンソールと呼ばれる形状。「センターコンソールが浮いてて中にも物が置けるじゃないですか!」(ウワイ)

今回の格言

オシャレで力が抜けて??
どこかエロい、フランス車の
似合う大人の男を目指せ!

「どうしたらフランス車が似合う男になれるか……パーマでもかけてみましょうか?」(ウワイ)「そこのツ!」(安ド)